

## 学園祭ものづくり体験コーナー

自然科学研究科機械システム工学専攻 松尾 優輝  
機械システム工学科 森 和也

### 1. はじめに

毎年11月の始めに行われる熊本大学の学園祭(熊粹祭)にて、夢科学と称して工学部のあるキャンパスでは様々な催し物を開催している。地域住民の方々を招待して、学園祭を通して地域との絆を深めることにもつながっている。

近年、バーチャルなゲームの普及に伴って、子供たちにとってのものづくり体験の場が急速に失われている。そこで、熊本大学工学部機械システム工学科の学生で学園祭において、子供たちが科学とふれあいものづくりを体験できる機会を提供している。

この企画は、熊本大学工学部が学生主体の活動を支援するために開始した公募型支援事業に応募して、平成17年に工学部機械系の学生会は、大学の学園祭におけるものづくり体験コーナーを実施した。

この学園祭におけるものづくり体験は、平成17年度以降毎年実施され、昨年度7回目を迎えた。

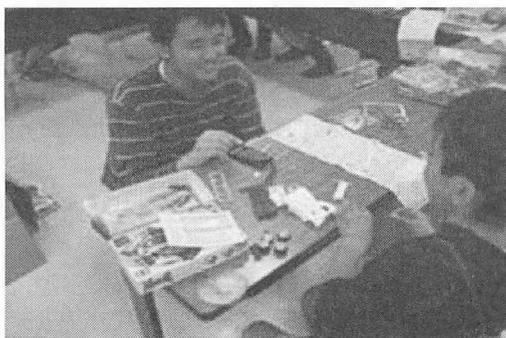


図1 子供たちのものづくり体験



図2 子供たちのものづくり体験

### 2. 内容

平成23年度において、学園祭ものづくりコーナーは次の内容を開催した。

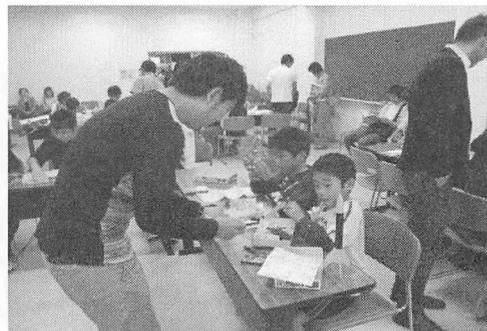
#### ● 七宝焼きコーナー



図3 七宝焼コーナー

七宝焼コーナーは、日頃あまり馴染みのない江戸時代末期からの伝統工芸技法にふれ親しんでもらうことを目的とした。女子に人気があると同時に、保護者の方からの関心が高かった。

#### ● ミニ四駆製作コーナー



ミニ四駆製作コーナー

図4

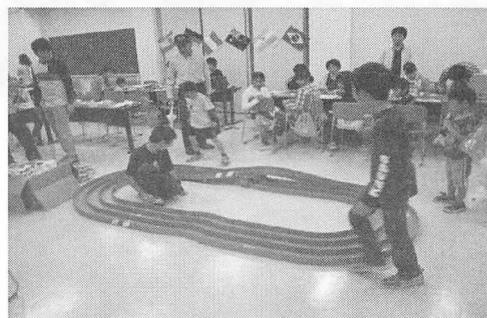


図5 製作したミニ四駆の走行

ミニ四駆製作コーナーは、一番の人気であった。予約制としたが、以前参加したことのある子供たちは朝一番から並ぶ程の盛況だった。子供たちは日頃プラモデル等を作ることはあまりないということで、ニッパーやグリスの用途を知らないのが多数であった。

● プラバンコーナー

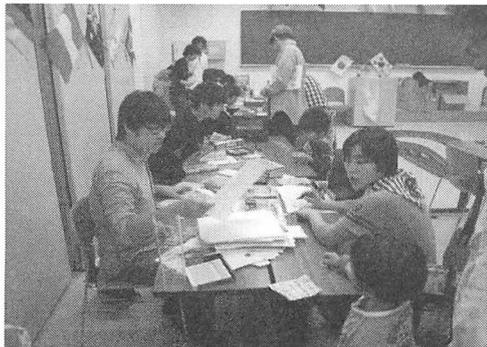


図6 プラバンコーナー

プラバンコーナーでは、ポリエチレンの熱塑性と弾性について簡単に理解してもらうことを目的とした。電子レンジに入れたプラバンが縮小すると感心した様子であり、キーホルダーとして持ち帰って使用できるため男女問わず人気のコーナーであった。

● 綿菓子コーナー

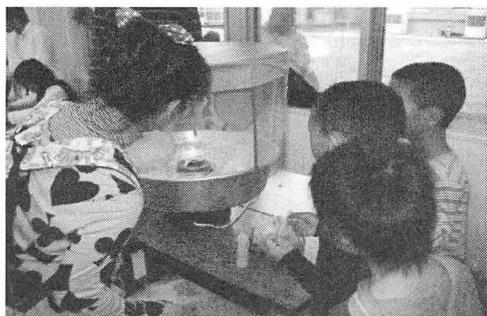


図7 綿菓子コーナー

綿菓子コーナーでは、ものづくりの一環として菓子づくりを設けるとともに、各コーナーの待ち時間の対策とした。他のコーナーに比べると綿菓子は祭り等で親しみはあるものの、実際に作ったことがある子供は少なかった。

● ビーズアクセサリ製作コーナー



図7 ビーズアクセサリ製作コーナー



図8 ビーズアクセサリ製作コーナー

ビーズアクセサリの製作コーナーでは、釣り糸にビーズを通して作成するアクセサリと、熱塑性樹脂を用いて型を作りアイロンで固めて作るアクセサリの製作を行なった。女子と保護者の方に大人気である。

3. おわりに

学園祭において、ものづくり体験を開始してから今年で7年目である。参加者の中には、「去年楽しかったから今年も参加した」と朝早くから会場に保護者を連れて来ている児童も多数いた。

近代のバーチャル化は、やはり子供たちをものづくりから遠ざけはするが、保護者の協力の元このような体験は、子供たちにもものづくりの楽しさを教えると共に、子供たちの中にはものを作ることへの楽しさが然るべく存在していることを確認できた。

このものづくり体験は、年々恒例行事として地域に根付き始めており、子供たちの”科学とものづくりの体験の場”として始めた企画が結果として”地域のふれあいの場”となり社会の絆が生まれると実感できた。また、子供たちが大学と接する機会を設けることで、子供たちが大学に対して肯定的なイメージを持つならば、将来の大学にとっても良い機会である。

このものづくり体験は今後も継続して実施する予定である。